

令和6年度 県立常陸太田特別支援学校 自己評価表

目指す学校像	◆一人一人の学びを大切にする学校 ◆家庭や地域と共に歩む学校 ◆地域の特別支援教育の推進に貢献できる学校		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
・危機管理マニュアルに沿った避難訓練を中心とした防災教育の実施、熱中症対策ガイドラインの徹底を図り、安心安全な学校運営を行った。 ・「深い学び」の実現に向けて、実践と振り返りをとおして、授業づくりに取り組んだ。	1 安全・安心な学校づくり	① 危機管理体制の整備 ② 地域と連携した安全管理 ③ 防災教育、健康教育の工夫 ④ 相談できる体制づくり ⑤ 保護者との連携	
・「OTA キャリア教育プラン」の各部間の系統性、内容について検討した。 ・幼児教育施設や小中学校、高等学校からの依頼に応じて巡回相談や就学・転学にかかわる相談を実施し、地域へのセンター的役割を果たしている。	2 確かな学力の習得	⑥ 各教科における授業づくりの充実 ⑦ 国語、算数・数学における新ステップシートの活用 ⑧ ICT活用した個別最適な学びの充実 ⑨ 自立活動の指導と関連を図った各教科等の指導の充実	
・教育課程を見直し、小学部で「生活」、中高等部で「社会・理科」を位置づけた。	3 キャリア教育の推進	⑩ 社会に開かれた教育課程の取り組み（OTA ぶどうプロジェクト） ⑪ 地域と連携した系統性のあるキャリア教育の推進 ⑫ 社会人講師による地域の特色を生かした作業学習 ⑬ あいさつの励行	
・個に応じた各教科の指導の充実を図り、年間指導計画の指導計画等の見直しを行う。 ・多様なニーズに対応するため、巡回相談員の専門性を高めるとともに、校内における研修やケース会議の充実を図る。	4 地域の特別支援教育の推進	⑭ 心のバリアフリーを目指す交流及び共同学習の工夫 ⑮ 多様なニーズに応えるための巡回相談の充実 ⑯ 地域の特別支援教育を推進する体制づくり	
・各部・校務分掌部で業務改善に取り組む。働きやすさについて課題意識をもち、相談し合える環境や、休暇取得しやすくサポートし合える体制を構築する。	5 専門性の向上と働きやすさ	⑰ 教員としての専門性を高めるための研修会の充実 ⑱ 社会人としての資質能力を高める研修の充実 ⑲ 教員間でサポートしあえる体制づくり ⑳ 業務削減と休暇取得の推進	

評価項目	具体的目標	具体的方策	重点目標との関連	評価	成果(○)、課題(●)及び次年度(学期)への改善策(◇)
学校経営 管理 教育計画	安全・安心な学校づくりの 推進	・危機管理マニュアルの更新と活用 ・避難訓練、防災教育の工夫、健康教育の実施	①②		
	グランドデザイン努力目標 の実現	・グランドデザインに基づいた教育計画の策定、教育計画策定に向けた意図の理解 促進（会議等における指導・助言）	②③⑥⑦ ⑧⑨		
教職員の 育成及び 指導・監督	教員としての専門性を高め るための研修会の充実	・外部専門家を活用した研修会の実施（授業づくり、自立活動、現職教育） ・学校研究及び計画訪問との連動 ・新ステップアップシートの活用 ・スペシャリスト教諭と連携した自立活動の指導の充実	⑥⑦⑧⑨ ⑩⑬⑭		
	学校としての組織的対応力 の向上	・会議や話し合いにおける提案型の徹底 ・管理職、教務主任、部主事、学年主任、校務分掌部長など、計画的な業務遂行	⑬⑭		
対外活動	キャリア教育の継続・推進	・OTA ぶどうプロジェクトの継続・発展 ・前年度反省を基に各部の仕事体験や現場実習を工夫・改善して実施 ・地域の事業所や商店会との連携により計画・実施	⑩⑪⑫⑬		
	地域の特別支援教育を推 進する体制づくり	・内容を工夫した学校間交流の実施及び合理的配慮を踏まえた居住地校交流の工夫 ・巡回相談、研修会の企画・運営、5歳児検診、子育て相談、発達検査等の実施 ・特別支援教育推進体制事業における、幼・少・中のコーディネーターとの協働	④⑮⑯		
コンプライ アンス確保	コンプライアンス意識の高 揚	・職員会議や Classroom による服務規律の確保に向けた情報発信や時事的な内容を 取り入れた研修内容の工夫 ・外部専門家を活用した研修会の実施（メンタルヘルスとコンプライアンスと）	④⑬⑯		
	服務規律の確保	・教職員個々の状況確認をするための企画会メンバーとの情報共有 ・職員間で協力相談できる体制、雰囲気づくり（各主任等の育成、ケース会議の充実）	⑬⑯		
働き方 改革	教職員の意識改革	・校内組織や業務内容の見直し、業務の効率化	⑰⑱		
	改革促進のための業務量 の縮減	・休暇取得や定時退勤に向けた取り組みの工夫 ・日常業務の ICT 化や見直し	⑱⑳		
I C T 活用	ICTを活用した個別最適な 学びの充実	・ICT活用推進部を中心とした研修の実施 ・各部及び校務分掌部によるICT機器活用状況調査	⑧⑱		
	ICT機器の利用促進	・業務削減に成果のあるICTの活用 ・ICT活用情報の発信及び共有	⑧⑳		

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない